

平成 28 年度以降の教育施策の主な課題について

1 学力・体力の向上 (継続・拡充)

「学力向上検討委員会」による課題の分析と指導法の改善や学習意欲向上のための取組。部会による専門的な研究協議・基礎学力の向上。さらなる学力向上の施策の実施。

「学習支援員」による小学校における習熟度別少人数指導の推進。中学校への「学習支援員」配置に向けた検討。

「ハイパー Q U 検査」による学校生活の意欲や満足度の把握、よりよい学級集団づくりやいじめ・不登校の未然防止のため、未実施の小学 1・2 年、中学 3 年の実施拡大。長期休業中の千歳科学技術大学の学生ボランティアによる学習サポートの推進、ALT による英語学習サポートの推進、千歳科学技術大学と連携した eラーニングの促進。

「千歳市家庭生活宣言」の促進。千歳市 P T A 連合会との連携強化。

新体力テストの実施方法改善に向けた実践モデルを全校に普及、コーディネーション運動の推進。

2 ICT 機器を活用した教育の推進 (拡充)

「電子黒板、実物投影機、ブルーレコーダー」を小中学校の特別教室（理科室、家庭科室、音楽室等）と少人数指導用教室等に配置（小学校 96 セット、中学校 53 セット）。全中学校へ「デジタル教科書」（5 教科・地図）の整備。

小中学校の普通教室や特別教室において、インターネットが利用できる環境にするため、「校内無線 LAN とタブレット」の整備計画の策定。

教員対象の ICT 機器活用・デジタル教科書の活用研修の実施。

3 土曜授業の全校実施 (新規)

学力向上や地域に開かれた学校教育の推進のため、全小中学校における年 4 回の土曜授業（午前 3 時間の通常授業・特別活動等）の実施。

4 外国語活動の推進 (新規)

全小学校の 1～4 年における共通の指導計画による英語授業の開始。

全小学校 6 年生対象に英語能力判定のため、「英検 I B A 検査」の実施。

5 教職員住宅の新たな整備方針の推進 (継続・新規)

整備方針に基づき、向陽台小 1 棟建替・1 棟解体、緑小 1 棟解体、北斗中 1 棟解体。

一般教職員住宅は、民間活用による整備を行うため、プロポーザル方式の事業者募集・選定に向けた検討。

6 学校施設の整備 (継続)

講堂等の非構造部材耐震化工事（27 年度予算繰越）として、未広小、第 2 小、北進小中、祝梅小、富中、東千歳中の実施。

大規模改修工事として、信濃小、高台小、東小、青葉中、北斗中の実施
放送設備の更新工事として、東小、北陽小、東千歳中の実施

7 特別支援教育の学校指導体制の強化（新規）

各小中学校に対する特別支援教育の学校指導体制を強化するため、学校教育課に一般教員の割愛による「特別支援教育学校指導担当主査」の配置。

8 校務支援システムの全校実施（拡充）

教職員の校務効率化を図るため、全小中学校に「校務支援システム」の導入。

9 いじめ防止・不登校対策の推進（拡充）

スクールソーシャルワーカーの活用、不登校対策の強化、おあしすの内容見直し。
いじめ防止基本方針の取組の徹底。重大事態のマニュアルの徹底

10 イングリッシュキャンプの実施（拡充）

小学生を対象としたデイキャンプの拡大実施（年 2 回開催）。

11 放課後子ども教室の実施（新規）

児童館未設置地区である緑小学校における「放課後子ども教室」の開設。

12 学校支援地域本部事業の対象校拡大（拡充）

支援対象校に向陽台中学校と東小学校の2校を追加し19校へ拡大。

13 キウス周堤墓群の活用・普及啓発（継続）

キウス周堤墓群の試掘調査の実施、ママチくんの活用促進、普及啓発事業の実施。

14 新給食センター整備事業の推進（継続）

新給食センターの基本構想策定に向けた基本調査の実施。

新給食センターの内容、機能、規模等についての外部検討委員会による検討。

食物アレルギーにおける対応策の検討。

15 学校司書の配置・市立図書館不明本対策（継続・新規）

学校司書配置事業をより充実させるため、プロポーザル方式による業者選定の実施。

市立図書館の不明本対策と利用者の利便性向上のため、コインロッカーの設置。

16 公民館の今後のあり方検討（継続）

老朽化が著しい公民館の今後のあり方について、検討結果のまとめと方針の決定。